

川畑 博昭

(愛知県立大学長、憲法研究者)

①ノイエ・ハイマート
池澤夏樹著 (新潮社・1980円)

②魂の教育
森本あんり著 (岩波書店・3190円)

③地震列島の原発がこの国を滅ぼす
小出裕章著 (産学社・1870円)

①のテーマは難民。著者は虚実混交の散文や詩、引用改編した自他の文章、自らの解説文までも作中に取り込み、どんな型からも解放された異形の作品に仕上げた。「新たな故郷」を探し求める人の苦難、その隣に垣間見える人の優しさ、ともに読み手の中にじんわり沈殿する。

②は神学の専門家が、各章一冊を手がかりに全二十章に編み上げた読書体験記。機知に富んだ著者の筆は常識を覆しながら、新たな思索の扉を開く。まるで読む者の魂を解放するような技である。

③を貫く地震・事故・戦争の眼は、「豆腐のような地盤」の上に立つこの国の原発の本性を暴く。事故は離郷を迫り、戦争は難民を生む。原発からの解放を説く原子力研究者の著者に流れるのは、多数のための犠牲に供される人の苦悩へ寄り添う、尽きることのない優しさである。